

大阪を強く豊かに！府民所得の向上へ。

しげはら英仁の政策

教育への
投資

学校施設の近代化、
高層化、多機能化！
学校新設も視野に！



私たちが暮らす大阪の未来、そして次の世代へ引き継ぐ明るい大阪の未来を、私たちは、築いていかなければなりません。私たちの大阪府では、1人当たり府民所得は325万7千円ですが、東京都は603万7千円に達しています（令和4年度、内閣府経済社会研究所・2025年8月公表）。その差は

約2倍にのぼり、2位は愛知県で、大阪府は10位となっています。また、1人当たりの県民雇用者報酬を見ると、大阪府は507万4千円、東京都は602万8千円、2位は愛知県で、大阪は第6位です（同）。

大阪は古くから日本の商業の中心地として栄え、「商都」と呼ばれてきました。しかしその姿は、現在の現実とは大きく離れています。そして、2025年現在も、企業の転出超過が続いています（帝国データバンク調査）。

日本全体で物価高が進む一方、賃金上昇が追いつかない状況が続き、とりわけ大阪では都心部を中心に、特にこの北区では、マンション価格をはじめ、住居費・生活コストが急上昇し、所得との乖離は他府県と比べても拡大しており、大きな課題です。府民の生活をより豊かにするためには、所得を引き上げる経済の立て直しが欠かせません。所得を大きく増やせる社会・経済環境の構築が求められています。

大阪は「中小企業のまち」といわれますが、新しい産業の創出によって経済基盤をより強く、大きく育てていく必要があります。大阪でベンチャーが生まれても、成長段階で東京へ移ってしまえば、大阪経済の成長につながりません。大阪で事業を継続していくことのメリットと大阪から世界へ挑むユニコーン企業を育てる環境を整備していきます。

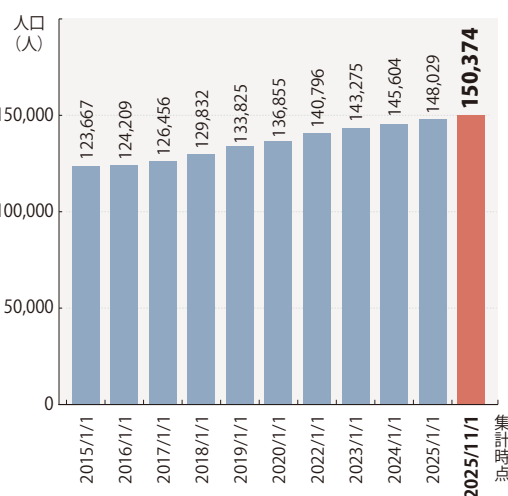
また、大阪は歴史的に日本の金融の中心地でした。多くの近代企業や銀行が大阪で誕生し、名実ともに商業都市として発展してきました。現在は東京一極集中が進んでいますが、大阪が

再び金融機能の中心となり、日本の経済首都として、さらには世界経済の中心に位置する金融都市としての地位を獲得すべく取り組んでまいります。そして教育への投資です。教育に目を向けると、全国学力調査が2007年に開始されて以来、大阪は全科目で全国平均を下回り続けています。

教育環境の充実には、教員の待遇改善を進めることは必須です。教育の無償化を進めるだけでなく、公立学校では、老朽化が進む学校施設を時代に合った近代化した施設として、教育環境を整備してまいります。特に都市部では、人口が増加し、特に私たちのこの北区では、近年、年間2000人を超える増加を続け、現在では、15万人を超えることとなりました。今後も多数の大型タワーマンションの建設計画が進行していて、これからも人口増が見込まれます。

同時に子供、生徒数も増え、学校の教室不足が課題となっています。中之島小中一貫校のように、新たな学校の設置も視野に入れなければなりません。都市部における学校には、立地規模の制約がある中で、今ある学校施設については、高層化、多機能化を進めるとともに、災害時の避難場所としての機能も充実させてまいります。私、しげはら英仁は、大阪の中心である、この北区から、安心して暮らし、豊かさを実感できる大阪をつくるため、全力で活動してまいります。

大阪市北区推計人口（大阪市計画調整局）



茂原英仁

大阪を強く豊かに！ 府民所得の向上へ。

高市早苗総理を先頭に明るい未来を切り拓く！

教育への投資

学校施設の近代化、高層化、多機能化！
学校新設も視野に！

自民党 大阪市北区府政対策委員長

しげはら 英仁

ひでひと

7

つの政策

1 大阪を経済首都に

- 国際金融センター、デジタル金融の先端都市としての大阪の地位確立
- 大阪発のイノベーション、ベンチャーの支援による新規事業の活性化と経済規模の拡大、ユニコーン企業育成
- 医・食・住・文化・芸術の歴史と集積を活かし、魅力ある都市形成へ

2 教育への投資

- 学校施設の近代化、高層化と多機能化（地域コミュニティ施設や幼保施設、体育館エアコン、屋内プール等）
- 人口増による学校施設問題の改善（学校新設も視野に）
- 学校内のウォシュレット付洋式トイレの完全普及
- 不登校対策の充実
- 世界で活躍できる子供達（海外留学支援制度の充実）

3 災害に強いまちづくり

- 無電柱化の推進
- 町会等コミュニティ施設の充実と活動支援
- 老朽化した交通インフラ等、都市インフラの整備
- エネルギー供給システムの構築と地域防災拠点の充実、強化

4 緑と憩いあるまちづくり（温暖化対策）

- 都市緑化と水辺を活かした環境都市の実現
- 街路樹の整備
- 公園の芝生化を推進、噴水の設置
- 淀川、大川周辺の魅力の創造

5 商店街の活性化と商業エリアの魅力創出

- 観光需要を取り込み、個性を活かした商店街の活性化とエリアの面的賑わい創出
- 大阪駅前第1・2・3・4ビル周辺の再開発

6 快適な生活環境の整備

- まちのバリアフリー化推進と住宅のバリアフリー化のサポート
- 安心安全なまちづくり（防犯カメラ、スーパー防犯灯の増設、放置自転車対策）
- 移動手段の充実 北区内に、コミュニティバスの運行・オンデマンドバスの利便性向上
- 独居老人、認知症サポート施設の充実

7 動物にやさしいまちづくり

- 動物とふれあい、愛護の啓蒙活動ができる施設を北区内に誘致
- ペットと安心して散歩ができる歩道へ



【茂原英仁プロフィール】

昭和43年（1968年）12月14日生まれ

甲南大学文学部英文科 卒業

家族：妻・長女・猫（ノルウェージャン）

- 昭和52年 4月 甲南大学文学部入学
- 平成 2年 3月～9月
米国留学 RENNERT BILINGUAL ニューヨーク校
- 平成 3年 3月 甲南大学文学部英文科卒業
- 平成 3年 7月 宅地建物取引士資格取得
- 平成 6年～平成19年
行政改革担当大臣・衆議院議員 中馬弘毅 秘書
- 平成20年～
防衛副大臣・外務副大臣・衆議院議員 中山泰秀 秘書



しげはら英仁を
LINEで応援
しましょう！

▲ このQRコードから登録をお願いします。